



「統計の日」は、国民の皆様は、統計の重要性に対する関心と理解を深めていただくとともに、統計調査に対しより一層の協力を頂くため、昭和48年7月3日の閣議了解によって定められたものです。10月18日は、我が国最初の近代的統計である「府県物産表」に関する太政官布告が公布された日(太陰暦で明治3年9月24日)を太陽暦に換算した日です。

総務省は、「統計の日」の周知を図り、統計への関心を深めてもらうため、「統計の日」ポスターを作成しています。ポスターに使用する標語は、各府省の職員、地方公共団体の職員、全国の統計調査員及び一般の方々より募集を行っており、今回は

「統計で みんなで見よう 時代の動き」

が特選に決定いたしました。この作品を基に作成した、平成25年度の「統計の日」ポスターが、全国の都道府県・市区町村及び小中学校等にて掲示されています。

統計の日にちなんで過去の特選に選ばれた作品を紹介します。

- 「統計で 知る・見る・活かす この社会」 (H. 24)
- 「小さな協力 大きな役目 統計はあなたが主役」 (H. 23)
- 「この国の 確かな選択 支える統計」 (H. 22)
- 「統計で 住みよい国の 基礎づくり」 (H. 21)
- 「こつこつと 調べてわかる 日本の姿」 (H. 20)
- 「統計で わかるわが町 わが社会」 (H. 19)
- 「生かします。あなたにもらった 貴重なデータ」 (H. 18)
- 「統計で見える現代、見すえる未来」 (H. 17)
- 「統計は、揺れる社会の揺るがぬ指標」 (H. 16)
- 「論より数字 勘より統計」 (H. 15)
- 「あなたが支える統計調査 あなたを支える統計データ」 (H. 14)
- 「統計で見る過去、知る今、描く未来」 (H. 13)
- 「誰のため？みんなのための統計調査」 (H. 12)
- 「役立っていますみんなの協力が！お返しします確かなデータで！」 (H. 11)
- 「統計は住みよい国へのサポーター」 (H. 10)
- 「統計で 社会をキャッチ 未来をウオッチ」 (H. 9)
- 「しっかり統計 くつきり未来」 (H. 8)
- 「たしかな統計 しあわせづくり まちづくり」 (H. 7)
- 「みんなの協力、みんなの統計」 (H. 6)
- 「大切なもの、忘れないで ー統計は明日のための常備薬ー」 (H. 5)
- 「みんなでづくり、みんなで生かそうー統計は未来社会のプランナーー」 (H. 4)
- 「統計はあなたが主役、みんなの財産」 (H. 3)
- 「統計は、世界をつなぐ共通語」 (H. 2)
- 「水と空気と統計と ーめだたなくても人と社会を生かしていますー」 (平成元年)
- 「明日がみえる ー確かなデータを利用しましょうー」 (S. 63)
- 「みんなでつくった ーこども達も統計の必要性、重要性を知っています。ー」 (S. 62)
- 「明日に、トライ。ー先を読み暮らしに役立つ統計ー」 (S. 61)
- 「データは、ぼくらの名監督。(野球少年)」 (S. 60)
- 「ここにも小さな統計の芽(子供の写真を使用)」 (S. 59)
- 「地球の朝はデータで始まる(地球儀のデザイン)」 (S. 57)
- 「進路よし(羅針盤のデザイン)」 (S. 56)
- 「統計は未来をひらく道しるべ」 (S. 55)
- 「統計は未来をひらく道しるべ」 (S. 54)
- 「暮らしに生かそうみんなの統計」 (S. 53)
- 「統計は明るい暮らしの道しるべ」 (S. 52)
- 「統計は明るい暮らしを生む力」 (S. 51)
- 「統計は豊かな暮らしのアドバイザー」 (S. 50)



並列した標語から、3つのキーワードを見ることが出来るのではないのでしょうか。1つは「暮らし」、2つは「社会」、3つは「未来」です。統計は暮らしを豊かに、住みよい社会、明るい未来を築くための基礎データであり、そのことを短縮された言葉で標語は示しているような気がします。